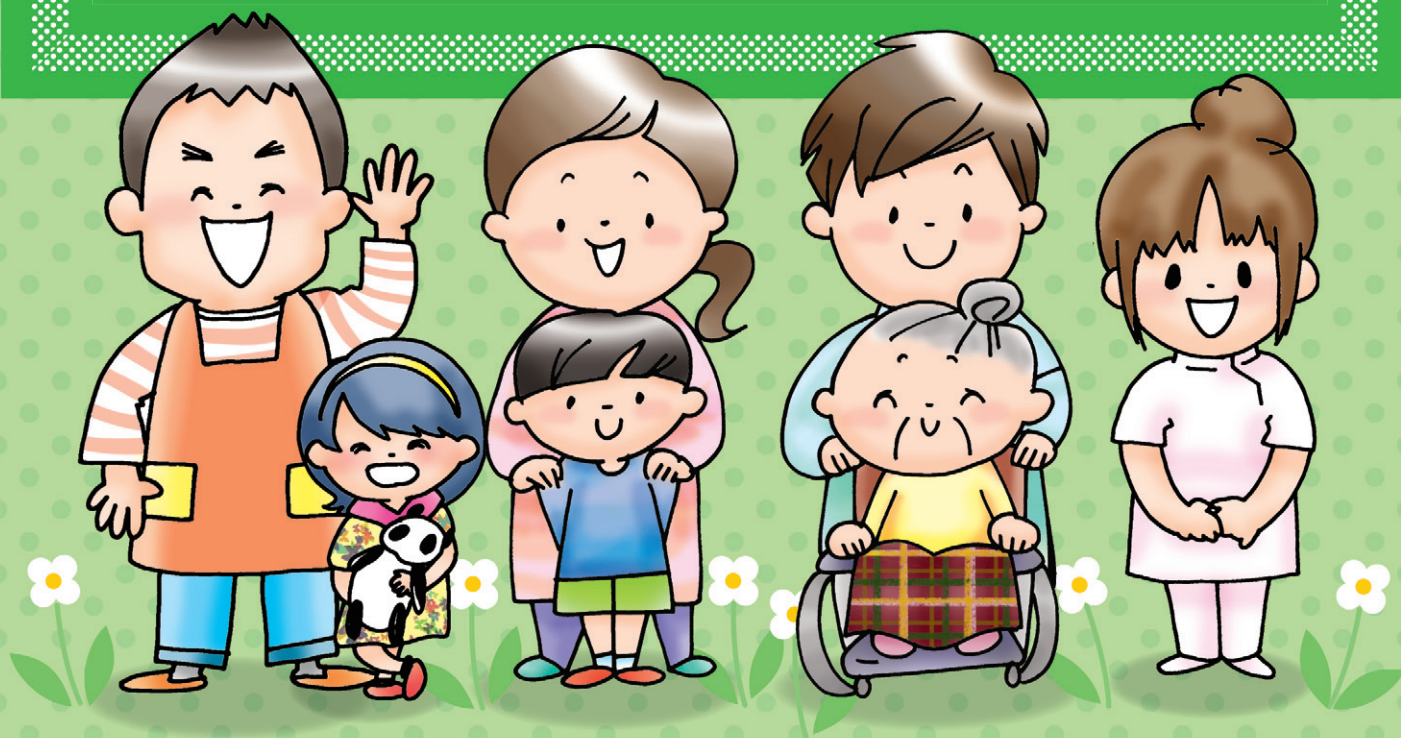




福祉は権利！ 利用者・経営者・労働者が 社会福祉を問う 共同シンポジウム



公的責任で、質・量ともに十分な基盤整備・人材確保を



2014年6月8日(日)
13:00～16:30(受付12:15～)

※手話通訳を希望される方は、5月30日までにご連絡ください。



東京 星陵会館

東京都千代田区永田町 2-16-2

参加
資料代

1,000円

※介助者は無料

主催 「福祉は権利」共同シンポジウム実行委員会

社会福祉施設経営者同友会、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、全国保育団体連絡会、
全国福祉保育労働組合、愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議、全国民間保育園経営研究懇話会、きょうされん、
中央社会保障推進協議会、日本自治体労働組合総連合、東京民間保育園経営研究懇話会、きょうされん東京支部、東京社会保障推進協議会

協賛団体 = 全国労働組合総連合、日本医療労働組合連合会、全国生協労働組合連合会、全労連・全国一般労働組合、全日本建設交通一般労働組合、
東京自治体労働組合総連合、東京地方医療労働組合連合会、ホームヘルパー全国連絡会、市民福祉団体全国協議会

問い合わせ先: 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5F 全国福祉保育労働組合 電話 03(5687)2901 メール mail@fukuho.org

開催の趣旨

今、特養に入れない待機高齢者が52万人いるにも関わらず入所を重度者に限定し、軽度者は介護保険の対象から外されようとしています。保育所待機児童解消を口実に保育の量の拡大が優先され、新制度での質の改善は先延ばしになっています。また、障害者権利条約がようやく批准されましたが、差別や虐待、介護保険優先の65歳問題などの権利侵害は条約の趣旨からは程遠い実態にあります。

今こそ、憲法25条に基づき、「健康で文化的な生活を営む」という国民の生存権を国の責任で保障すべきであるという、「公的責任」と「福祉は権利」の理念を「自己責任」と対峙させることが求められています。

大きな共同運動のスタートとして、「公的責任としての社会福祉」のあるべき姿を共有するための共同シンポジウムを開催します。シンポジウムでは、「公的責任」と「福祉は権利」の理念を共通認識にすることを目標にし、国民的な共同運動を展望します。

シンポジウム内容

《登壇者》

コーディネーター：石倉康次さん(立命館大学教授)

シンポジスト①：正森克也さん(社会福祉施設経営者同友会 幹事)

シンポジスト②：阿部一美さん(さいたま市 保育園保護者)

シンポジスト③：三橋恒夫さん(全国肢体障害者団体連絡協議会 会長)

シンポジスト④：清水俊朗さん(全国福祉保育労働組合 副委員長)

《プログラム》

13:00 開会・主催者あいさつ

13:05 コーディネーターの基調報告

13:45 セッションI「福祉現場の実態と権利保障への思い」
～休憩～

15:00 セッションII「公的責任としての社会福祉を追求する」

16:20 集会アピール

16:25 閉会あいさつ

アクセスマップ



◎東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線
永田町駅6番出口より徒歩3分
※エレベーターをご利用の方は、5番出口をお使いください。

◎東京メトロ千代田線・丸ノ内線
国会議事堂前駅
5番出口より徒歩5分

◎東京メトロ南北線
溜池山王駅5番出口より徒歩5分
※エレベーターをご利用の方は、6番出口をお使いください。

◎東京メトロ銀座線・丸の内線
赤坂見附駅11番出口より徒歩7分

会場に駐車場はありません。

